

平成30年度 事業計画書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

I. 平成30年度の基本方針

平成29年度の日本スポーツ界は平成30年2月に韓国平昌で開催された第23回冬季オリンピック・パラリンピックの好成績の余韻が残る中、2年後に迫った2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、大いにスポーツ熱の高まりを見せております。永い年月を掛けて指導者のみなさまが育成・強化されてきた競技者が世界選手権やワールドシリーズ等の国際大会で活躍され確実に成果として結び付きを見せております。

平成30年度の公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団は「青少年スポーツの振興と心身ともに健全な青少年の育成をもって、明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与する」ことを目的として活動してまいります。オリンピック・パラリンピックの採用競技は基より、5年・10年先の長期展望を見据えた他競技における競技普及やジュニア層の育成、トップ選手強化のために助成金や奨学金を有効活用し、応援してまいります。

II. 平成30年度の事業計画

平成29年度世界経済の景気動向は穏やかな上昇傾向にありましたが、情勢は地政学を含め不透明なリスクが多い状況にあり、平成30年度においても同様に推移すると考えます。そのような状況下、当財団の運用資金の半数以上を占める保有株式の配当利金は継続して安定配当が予想されます。併せて、保有している仕組債においても米国の利上げが予想され、円安ドル高の為替相場で推移し前年以上に利金の確保ができると見込んでおります。

このような財政状況の中、収支相償の法令に従い下記金額を事業計画とし、審査はより効果的に活用されるよう最善の注意を払ってまいります。

事業目的別の事業計画は次の通りです。収支予算は別紙をご参照ください。

1. 助成に関する事業

2,900万円（前年予算対比109%）を計上いたします

2. 奨学に関する事業

1,050万円（前年予算対比105%）を計上いたします

3. 表彰に関する事業

400万円（前年予算対比100%）を計上いたします

III. 平成30年度の募集状況

助成事業と奨学希望者・表彰対象者の募集は、前年に引き続きホームページで情報を公開し、一層わかり易い内容に努めます。助成事業は公益財団法人日本スポーツ協会や各都道府県中学校体育連盟・高等学校体育連盟等の競技団体へ、奨学事業は各都道府県の教育委員会、全国の体育学部のある大学等へ応募用紙を送付いたします。

今後もより健全な運営に努め、スポーツ振興の礎になるように力を注いでゆく所存です。